



大自然の恩恵に感謝し、
あなたの愛で“自然”を守ろう

10月の教化部
太陽光発電量



月間発電量 900KWh
積算発電量 212,020KWh

現在、機器の改修中のため、2023年10月時点での計測値を表示しております。ご了承ください。



〒406-0032
笛吹市石和町四日市場1592-3
宗教法人

「生長の家山梨県教化部」

TEL 055-262-9601

FAX 055-262-9605

発行人：井下 昌典

編集：編集委員会

E-mail sni-yamanashi@nifty.com

ホームページ https://sni-yamanashi.org/

「通信簿の思い出」



教化部長
井下 昌典

北海道の出身の私たち夫婦にとって、冬期間の出勤前の除雪作業は体力を使う大仕事の一つでした。二〇一七年四月に北海道函館市から岐阜県岐阜市に移転してからは、現在に至るまで殆ど除雪作業無しという冬を過ごしています。何となく物足りなさがある一方、肉体的にはこんな楽で有り難いことはないかと感謝しています。

テーマは「通信簿」です。

「効果はバツグン」
小学校教諭 佐藤洋美 60
(埼玉県草加市)

通信簿が上げれば一輪車を買ってもらえるんだよ」「僕はおもちゃゲームもほしいな」なんて言われると、みんなに良い成績をあげたくなる。「もう少しがんばろう」をつけるときは、かなり勇気がいる。若いころのこと、掃除当番をまったくやらない子がいた。当然、「係、当番活動」の項目には、「もう少ししな」がつくはずなのに、まちがって「よくできる」につけてしまった。ところが、次の学期からは、別の子かと思うほど、よく掃除をするようになった。きつと良いお父さんになっていくだろうと、来年の三月末で定年を迎える今、懐かしく思い出している。

「悪くても良いよ」
主婦 清水 寿子 48
(埼玉県越谷市)

まだ息子が小学一年になつたばかりのことだ。通信簿の成績が、私を力チンとさせた。息子を叱つた。家を飛び出して帰つてこなかった。娘と探した。しばらく歩いて帰つてきた。居なくなつた時間は、ほんの一時半くらいだったろう。心配で胸がつぶれそうになった。息子はずっと歩き回っていたそう。こんな小さな子どもでも傷つくことを知つた。それ以後、通信簿は、その子の全人格を示すものではないと思うようになった。子どもが自分で通信簿を見て感じ、何かを思うだけで十分なのだ。あのとき、私も通信簿を渡されたよ。うな気がする。

「親の作戦勝ち？」
主婦 落合美恵子 35
(茨城県牛久市)

高校一年の期末テストの後、ある科目の先生がクラス全員の前で、私を含め三人の成績表に「1」がつくことを告げた。私以外の二人は、発表された途端、泣き出した。私の両親は生活面ではとても厳しかった。しかし、学習面で叱ることはなかつたので、「ちよつと参つたな」と思つた程度で、「家に帰れない」と泣いていた。終業式の日、成績表には「1」から「5」までの数字がすべて並んでいた。家に帰ると、母は「1」は赤い字で書いてあるんだ。生まれて初めて見たわ」と興味津々の様子。父に向かつて「子どもがいると、自分たちの人生では見ることのできなかつたものが見られて楽しいわね」と言つた。父も「いやあ、バラエティーに富んでいて楽しい」と喜び、その日の夕飯は大いに盛り上がった。私も得意になつてはいたが、少々複雑だった。

「息子の『成績』は自由業 日下総光 73
(千葉県四街道市)

高校三年の父母を対象にした進路説明会のときのこと、担当教員が「大学の推薦入学には、五段階評価で各科目の平均点が4以上あることが条件だ」という話をした。説明が終わつて、ある男性が手を挙げた。「数字を挙げて説明して貰つても、こちらには何の資料もなく、息子の成績など分らない」と。教員は「学期ごとに通信簿をお渡ししているはずですから、それで大体見当がつくと思うのですが」と言つたと、その男性は、驚いた様子で「息子が一年のとき、高校は、義務教育ではないから、通信簿などない」と言つたので、そんなものか、と思つていた」と話した。会場は爆笑の渦、教員は絶句。さらに男性が「あの野郎、三年もだましやがつて」と言つたと、教室はもう収拾がつかない笑いの世界と化していた。

私が小学校の「通信簿」を貰つていた時代は今から半世紀以上も前のこと、五段階評価でした。成績は、クラスで真ん中あたりをウロチヨロしていましたが、それに対して両親から何か言われたという記憶は余りありません。ただ、五段階評価以外の学校での生活態度については、「明る

す時間であり、もうひとつは、次の世代に豊かな自然と平和な地球社会を遺したいという希望です。そんなことを思いながら、今年初めて、地元産の無農薬大豆で自家用の味噌を仕込みました。

手前味噌の良さはいろんな方から聞き知ってはいましたが、自分だけでうまくできるのかわからず重い腰が上がりませんでした。きつと、中高生の皆さんと、いろいろ試すうちに、私の心ができそうだと、大丈夫、やってみようという方向に切り替わったのではないかと思えます。

育成は時間をかけ、教えを基に人と人とかかわり続ける中でお互いにいい影響が生まれるのだと思います。

今回は私がいい影響を受けたことについてつづりましたが、これから中高生の皆さん一人お一人にどんな未来が開くのかわくわくしながら、これから参加者に楽しんでもらえる誌友会やミニイベントを企画します。

中高生に関わってくださる仲間、青年会の皆さん、教化部長先生をはじめ、教区の先生方、自然界とともに感

謝の気持ちで明るく楽しく続けたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします。

再 拜



山梨教区青年会 メールアドレス
sni.yamanashi.seinen@gmail.com
 生長の家山梨教区青年会 Seicho-No-Ie Yamanashi Youth and Young Adult Association

地方講師会

小林 真寿美講師

合掌ありがとうございます。再拜

二百字日記で書く「私の一冊」が二月二日より新しく企画され、これまで書かせて頂いたことへの感謝の内容とさせて頂くとうこの原稿のテーマが決まりました。短い期間でしたが、書くことにより有難いことがはつきり見えて来て、そのたびに書かせて頂き神様に感謝できたことが本当に有難く、よろこびです。

数えると二十八回も投稿させて頂きました。一回目は昨年九月十五日の日記で「テーマは「一日見真会」のお誘いの様子と心の動きでした。四名を誘いワクワクしていましたが、参加できなくなったり、や、浄心行が初めてで浄心文を書かなかつた方がいたので、心が動揺しました。日々の訓練により明るく整えることが出来た喜びを書きました。緊張してしまいやっと読める細々とした頼りない字で、何とか二百字にして神様に背中を押してもら

い勇気を出して投稿しました。実際には二百字の三倍の長い文章を削って縮めて二百字にしました。少しずつ慣れて来て多い文字を二百字にするのが楽しい作業になって来る。段々短い言葉が降って来る。神様が用意して下さると感ずる。テーマが決まると書きたくなる。私の書く内容は単純で家庭の年中行事その他と教区の行事等がテーマで、生長の家の教えを受けての感動と感謝の日記であり、私達は日時計主義を日々生きているから、多少忙しくて書こうと思えば書けるものだということがやってみて分かりました。

全国の皆様の二百字日記を読ませて頂き今年の目標として実行を始めたことがあります。毎日の聖典拝読と神社の「一日参り」と「十五日参り」です。聖典の拝読は講師は必須であるにもかかわらず不得手でもかかわらず活発な日々の聖典拝読と輪読会に刺激され今年度の決意として365シリーズの一冊が何と今一月続き(二月一日現在)お蔭様で真理の凄さに感じ入る毎日にな

「生活の記録表」の提出を募集しています!

【ご案内】
 毎年3月下旬までに“前年(2023年)の1年間”或いは“前年(2023年)と前々年の2年間”記録した(又はCO2排出量合計数と前年度比較のみ)「生活の記録表」の提出を募集しています。ご協力をお願いいたします。

提出された記録は、教区の皆様の取組みの成果として国際本部に提出します。なお、提出された皆さまの情報(氏名・内容等)は一切公表されません。

CO2削減に取り組む過程で排出量が増えてしまうこともあります。削減に取り組むことには意義がありますので、安心してそのまま提出してください。(問合せなどは、教化部または組織の事務局へ)

りました。「一日参り」は日々でした。無事に過ぎた一月に感謝し、また新しい月の無事を願ってお祈りします。毎月清掃に行っている御崎神社は一日は午前十時から月次祭が行われ、この日も地域の神社の関係者七人分の履き物が整然と並べられていました。

「一日参り」の祈りと山梨教区の発展と、ウクライナとロシアと中東の平和と、世界の平和と能登地方の復興を祈り、参拝者一名に白鳩誌をお渡ししました。そしてやはり一日



は参拝者が普段より多いことを改めて感じました。「十五日参り」もあり、月一回の清掃日と伝道日もあるのです。さらに楽しみます。

これからも地域に寄り添う温かい活動を信徒の皆様と共に明るく楽しくワクワクしたいと思っております。ありがとうございます。

再 拜

オープン食堂

一月十七日に教化部にて「オープン食堂」が開催され、運営委員も合わせて二十二名の方に「ご参加いただきま

した。見た目も色とりどりで美味しいお食事に、参加された方々は、とても喜ばれていました。今回、いつも運営をしてくださる廣瀬通子・白鳩会教区連合会長からお話を伺いました。

「今年から調理を地区で順番にさせていただけという事で、当日に向けて必要な回数打ち合わせや一度事前に調理してみることができ、楽しかったです。また、地区のつながり、絆がさらに深まりました。もともと仲の良い地区で、責任者の方が皆さんへ連絡をしてくださって、皆さんも快く集まってくさいます。これから、他の地区の方々も、メニューを考えて決めていただき、自分のお家で研究した上で実際にオープ

ン食堂で皆様にお食事をお出しできるといって、それぞれの地区の連携の良さが発揮できると思います。また、毎回新しい方(会員でない方)が来てくださるので、ありがたいです。今回はご参加いただいた方は多くはなかったですが、私たちが取り組むことで、愛を出す、心を出す、社会貢献や奉仕をさせていただけることが一番の喜びです」

「ご参加いただきました皆様、真心込めて運営してくださいました皆様に心より感謝申し上げます。今後も毎月開催する予定ですので、オープン食堂へご参加をお待ちしております。」



どなたでもお気軽にご参加ください



いずみ生命学園

日時：二月三日(土)
時間：二時～三時三十分
開催：北杜市大泉 10区公民館

朝礼
開会の祈り : 全員
大調和の神示 : 全員
『神さまと自然とともにある祈り』 : 全員
閉会の祈り : 全員

朝礼では、「建国記念の日」を二月十一日にお祝いするので、「紀元節」を斉唱しました。また、神話にある「国のはじまり」についてお話ししました。神々の系統を話しながら、紀元前六六〇年(キリスト様が生まれる約六六〇年前)に最初に即位された天皇は神武天皇で、イザナギノミコトの神とイザナミノミコトの神の子孫であることをお話ししました。現在の天皇陛下は一二六代目の天皇陛下で、神武天皇からずっとつながっていて、日本の天皇制度の始まりが神様からつながっていることとされる、素晴らしい歴史を持っていることをお話ししました。私達も神の子で、心で人生をつくる力を持っているので、大きな夢を描いて努力すれば、きつと夢が実現できますよとお話ししました。朝礼の後は、節分なので型紙で鬼のお面を作りました。一人ひとりのオリジナルでカラフルなお面が沢山できました。みんな喜んでいました。ご参加下さいました皆さま、ありがとうございました。



聖使命会員 新規入会・転入・復活者ご芳名

聖使命会員は神様とのパイプを繋ぐ幸福への近道です。

11月～1月度 おめでとうございます (敬称略)

組織名	単位組織	お名前	紹介者名
白鳩会	白根	山田ルイ	遠藤あつ子
白鳩会	白根	匿名1名	名取永子
白鳩会	藤井	匿名1名	中州美紀

参加者：近藤咲栄子、近藤仁美、宇都宮詩織、宇都宮実莉、宇都宮七海、矢野日葵
保護者：矢野優(矢野桜子・赤ちゃん)
スタッフ：田中満子 (敬称略)



生長の家山梨教区 甲斐見真会

日程：2024年 3月16日(土)~17日(日) 両日10:00~16:00

奉納金：1日 1,200円以上 随意(おにぎり付)

<主な内容>

- ・講話(井下教化部長、地方講師)・体験談・座談会
- ・浄心行(16日)・先祖感謝供養祭(17日)
- ・祈り合いの神想観(17日)・その他
- ・テキスト『生長の家ってどんな教え?』、新版『人間苦の解放宣言』
新版『人生を支配する先祖供養』他
- ・持ち物：聖歌集、『万物調和六章経』、聖經『甘露の法雨』、
聖經『天使の言葉』

※このたびの甲斐見真会はインターネットでの配信は行いません。(但し、「先祖感謝供養祭」の時間だけ配信します)

参加を希望される場合は直接、生長の家山梨県教化部へお越し願います。

JR石和温泉駅⇄教化部の送迎がございますので、ご利用を希望される方はあらかじめ教化部まで連絡願います。

この感動はここでしか聞けません。
5名の体験談は、聞き逃せません!

主催：生長の家山梨県教化部

お申込み、山梨県教化部(右記)または、教区の各教会へ

TEL：055-262-9601 (会期時間 9:00~17:00)

E-mail sni-yamanashi@nifty.com

「神・自然・人間の大調和祈念祭」当日ライブ配信!

3月11日(月) 9:30接続開始、10:00開式 ~ 11:00閉式

<ところ：生長の家“森の中のオフィス”>

お言葉：生長の家総裁・谷口雅宣先生

持ち物：『大自然讃歌』

接続方法：インターネットで「生長の家 公式サイト」から接続してください(一般公開)

【二百字で書こう 2023年の良かったこと「優秀賞」に山梨から4名の皆さんが選ばれました!】

(応募数77名)

12月20日から1月17日までフェイスブックグループで実施された本企画。6名の「優秀賞」のうち、山梨から4名の皆さんが受賞されました。

みやびさん
(小学2年生)

まさと君
(小学4年生)

かずい君
(小学6年生)

みちかさん
(高校1年生)



おいしいノーミート料理の
生長の家 オープン食堂

3月13日(水) 12:00~13:30

ランチ 30食限定
お早めにお申し込みください

地産地消・旬産旬消・無農薬・有機栽培の食材を心がけ、健康的なランチメニューをご提供します。

料理写真は1月に撮ったメニューです。

「令和6年(2024年)能登半島地震」被災者支援の募金活動の実施について

- 名称：
「令和6年(2024年)能登半島地震被災者支援募金・一般支援募金」
「令和6年(2024年)能登半島地震被災者支援募金・信徒支援募金」
- 実施期間：2024年1月18日~2024年3月31日
- 支援募金の寄付先：
一般支援募金は、日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」に寄付します。
信徒支援募金は、被災教区の道場等施設修繕費に充当するほか、被災した聖使命会員への見舞金とします。

詳しくは、生長の家公式サイトをご参照ください。